



国連・持続可能な開発目標 (SDGs) に貢献する大学の役割とは？ サステナビリティ・ウィーク 10 周年記念国際シンポジウム

開催概要：

2007 年より 10 年間、持続可能な社会づくりに向けた研究と教育の強化週間として開催してきた「北海道大学サステナビリティ・ウィーク」は、2015 年 9 月に採択された、国連・持続可能な開発目標 (SDGs) に貢献する高等教育のあり方をテーマに 10 周年を記念した国際シンポジウムを開催します。

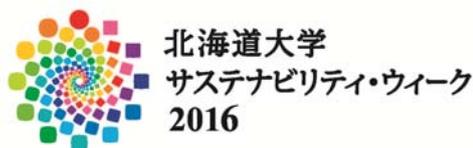
《シンポジウムでは何をやるのか？》

シンポジウムでは、「国連 SDGs に貢献する高等教育のあり方」という共通テーマの下、学内外の様々な組織が多彩な全体会・分科会を提供します。全体会では、2 つの基調講演を通して、ドイツとアメリカにおける持続可能な社会の実現に向けた実践や実験の歴史が、SDGs 時代にあって新たな価値観と行動を生み出しつつある兆しを捉えます。また、北大におけるサステナビリティ教育の歴史と実績を紹介した上で、総長へ提言するサステナビリティ教育に関する将来構想の素案を提示します。これに基づき、SDGs に貢献する大学に相応しい構想とはどのようなものかについて、指定討論者並びに会場の参加者と共に議論し、考えます。

《誰が対象となるのか？》

世界の課題解決のために大学生や大学には何ができるのか？様々な角度からディスカッションする本シンポジウムでは、大学生のみならず、市民や NPO 団体などに、次のように広く参加を呼びかけています。

「だれか」ではなく、「私たち」が
「いつか」ではなく、「今」から
世界の課題解決に貢献するために



日程：2016 年 10 月 29 日 (土) 10:30~19:30, 30 日 (日) 9:30~17:00

会場：北海道大学学術交流会館 他

言語：日本語・英語 (一部、同時通訳あり)

対象：大学生、市民、大学関係者、NPO・NGO 関係者

備考：10 月 29 日 (土) の懇親会は有料 (参加ご希望の方のみ)。

10 月 30 日 (日) 分科会 3 の参加者で昼食が必要な場合は、各自お持ちください。

詳細：<http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sdgs/>

参加方法：事前に以下のウェブサイトよりお申し込みください。

<https://huci.oia.hokudai.ac.jp/sw/list>

サステナビリティ・ウィーク 2016 ホームページ：<http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/2016/jp/>

お問い合わせ先

北海道大学 サステナビリティ・ウィーク事務局

TEL : 011-706-8031 E-mail : sw1@oia.hokudai.ac.jp

10周年記念 国際シンポジウム

～持続可能な開発目標 (SDGs) に貢献する高等教育のあり方～

世界の課題解決のために大学生や大学には何ができるのか？様々な角度からディスカッションします！

- 日時: 2016年10月29日(土)、30日(日)
 - 会場: 北海道大学 学術交流会館、附属図書館
 - 申込み: ウェブサイトより事前申し込み要 <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/2016/jp/sdgs/>
- (※分科会3にご参加の方は、各自昼食をお持ちください／☆博物館ツアーは、学術交流会館に集合ください。)



日付	No.	時間	プログラム	企画	言語	主催・共催	
10月29日(土)	分科会1	1	10:30-12:30	☆ 総合博物館ツアー 1回目	持続可能な開発を「クール」に考えよう！ ー北極域展示室を通してー	日本語・英語	北極域研究センター
		2	11:00-12:30	市民セミナー & 図書館ツアー	聞いて見て知る！国連の活動と北大図書館 (会場となる附属図書館へ集合ください。)	日本語	附属図書館 (国連寄託図書館)
		3	11:30-13:30	☆ 総合博物館ツアー 2回目	持続可能な開発を「クール」に考えよう！ ー北極域展示室を通してー	日本語・英語	北極域研究センター
	全体会		14:00-14:10	開催あいさつ	上田一郎 北海道大学理事・副学長	日本語・英語 (同時通訳)	北海道大学
			14:10-14:30	開催趣旨	鈴木規子 文部科学省国際統括官付国際統括官補佐		
		4	14:30-15:15	招待講演 (質疑応答含む)	SDGs達成のための高等教育の役割 AASHE(米国の高等教育における「持続可能な発展」に向けた活動を促進する非営利団体)理事 キンバリー・D・スミス		
			15:15-16:00		リスク社会における不確実性を生きるための知識とは ーチェルノブイリ後のドイツにおける市民の“方向性の知”に基づいてー フェリス女学院大学 准教授 高雄綾子		
			16:20-17:30	講演	北海道大学におけるサステナビリティ教育の将来像 *司会:北海道大学 教育学研究院長 小内透 *発表者:北海道大学 副学長 山下正兼 *指定討論者:ソウル大学校 師範大学長 Chan-Jong Kim *指定討論者:東京大学大学院教育学研究科 准教授 北村友人		
			18:00-19:30	懇親会(有料)	当日集金2000円(予定)ノソフトドリンクと軽食		
	10月30日(日)	分科会2		9:00	開場・受付開始		
5			9:30-12:00	講演	高等教育におけるESD事例報告(仮題)	日本語	HESDフォーラム
6			9:30-12:00	講演	北欧とバルトの国々に学ぶサステナブルな高等教育の在り方 *駐日ノルウェー王国大使館 通商技術部・シニアアドバイザー 松本宏 *駐日スウェーデン大使館 科学・イノベーション部 Mats Engström *駐日エストニア共和国大使館 Counsellor Argo Kangro	日本語・英語	北海道大学 ヘルシンキオフィス
分科会3		7	10:30-12:30	☆ 総合博物館ツアー 3回目	持続可能な開発を「クール」に考えよう！ ー北極域展示室を通してー	日本語・英語	北極域研究センター
		8	12:15-13:45	学生ワークショップ1	大学生の挑戦！世界の目標を自分とつなげる	日本語	環境省北海道環境 パートナーシップオ フィス(EPO)北海道
		9	12:30-14:30	☆ 総合博物館ツアー 4回目	持続可能な開発を「クール」に考えよう！ ー北極域展示室を通してー	日本語・英語	北極域研究センター
分科会4		10	12:15-13:45	対談	SDGsへ貢献する高等教育のあり方について(仮題)	日本語	HESDフォーラム
		11	14:00-16:00	学生ワークショップ2	学生目線で考えよう！ よりよい世界の未来を担う高等教育どうあるべき？	日本語	EPO北海道
		12	14:00-16:00	☆ 総合博物館ツアー 5回目	持続可能な開発を「クール」に考えよう！ ー北極域展示室を通してー	日本語・英語	北極域研究センター
		13	14:00-16:00	講演会	コンフリクトを超える知を生み出す学び ー分断社会における和解の可能生ー	日本語	教育学研究院
全体会	15	16:15-17:00	パネルディスカッション	SDGsに貢献する高等教育のあり方 * 司会:北海道大学 副学長 山下正兼 * 各分科会からの報告	日本語・英語 (同時通訳)	北海道大学	